

患者の皆様へ

2022年8月22日

千葉大学医学部附属病院 血液内科

現在、血液内科では、「末梢血 WT-1 を surrogate marker とした AML/MDS 移植後再発診断の後方視的検討」に関する研究を行っています。この研究では今後の治療に役立てることを目的に、2012年1月1日から2021年12月31日までに当院で急性骨髄性白血病（AML）または骨髄異形成症候群（MDS）に対して同種造血幹細胞移植を受けた16歳以上の患者様の診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「末梢血 WT-1 を surrogate marker とした AML/MDS 移植後再発診断の後方視的検討」

2. 研究の目的・意義

本研究は、当院単施設における後方視的観察研究であり、当院における AML/MDS 同種造血幹細胞移植症例において移植後末梢血 WT-1 の推移と再発の有無を評価し、移植後再発を予測する末梢血 WT-1 上昇の閾値を明らかにすることを目的としています。

3. 研究の方法

当院電子カルテの診療情報より対象患者様の造血幹細胞移植に関する情報（ドナー、移植前処置、生着、GVHD 発症の有無と日付、感染症の有無と日付等）、診断以降の全経過における末梢血 WT-1 値、移植後再発と早期治療介入の有無、生存期間などの情報を収集します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、住所、電話番号、氏名、カルテ番号など、個人を特定できる情報をすべて削除の上、ID を付けて対照表を作成・管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データは千葉大学医学部附属病院 血液内科カンファレンスルーム（ひがし棟7階）の鍵のかかる棚に保管します。

5. 研究機関

千葉大学医学部附属病院 血液内科で行われる研究であり、他研究機関への情報の提供はありません。

6. 研究期間

研究実施期間は、倫理委員会によって実施が承認された日から2025年3月31日までです。

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 血液内科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院血液内科

診療教授 堺田 恵美子

043 (222) 7171 内線 5259